

人類働態学会 19期 第6回理事会

日時：2007年5月18日（金） 18：30～20：30

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席者（敬称略）：岩田浩子 片岡洵子 岡田 明 小木和孝 酒井一博 中田英雄 久宗周二
平野和彦 堀野定雄 真家和生 松田文子 松村秋芳 水野有希 森みどり

配布資料： 資料1 報告確認事項 資料5 活動スケジュール
資料2 JHE、会報、「働態研究の方法」進捗状況 資料6 JHEの倫理規定案
資料3 人類働態学会自己評価実施案 資料7 第42回大会スケジュール
資料4 2007年度予算案 資料8 新規共同研究案（色覚の個人差に配慮した新しい交通信号機的设计（仮））

会員動向（下記を含め215名 前回理事会より1名増）

<入会>

近藤功行 沖縄キリスト教学院大学人文学部英語コミュニケーション学科

●審議事項

1. 第42回大会の準備状況

- ・5月18日現在、夏季研究会参加人数14名、演題数22題、大会参加人数34名
- ・移動用バスの都合上、夏季研究会は6月10日に参加を締切る予定。
- ・第2報は5月末に振込み用紙を合わせて、会員に郵送する予定。

2. 自己評価の提案

- ・学会活動の活性化に寄与することを目的とするために、理事会で活動の自己評価を行い、会員へ公開することとした。評価内容は、学会の活性度、学会の社会的貢献度、研究水準向上への取り組み、国際協力活動への取り組みなどと、個別事業についてとする。
- ・会員の意見を評価の中に入れるべきだが、初めての試みであるため理事会で評価を行い、次年度からは会員にも参加要請していく。
- ・年度の事業報告と次年度の事業予定に関連づけるように、理事会が取り組んでいることを、会員に訴えていくべきである。
- ・目標値に達していないから評価をするのだが、過去のことまで評価することはネガティブになってしまうため、達成したことを評価するようにしてほしい。
- ・評価項目に「学会運営における企画性・透明性」を加えることとした。
- ・評価案を参考に、個々の理事の評価をまとめ、最終の評価案を作成することとした。

3. 予算編成案

- ・大会の補助費は、活動が前年度から始まるため、前年度予算から捻出することになる。2007年の大会は、2006年度の予算に含まれる。
- ・IEAの分担金は、今年から値上げになった。日本、アメリカ、ノルウェーは値上げの対象になっている。IEA財務担当からは連絡が来ていない。

- ・本年度の支払いは2006年度分であり、値上げは次年度（2007年度）からになる。
- ・夏季研究会の補助は50,000円であるが、本年度から100,000円に値上げすることを検討する。

4. JHE 投稿論文の実験倫理関係事項の記載

- ・人を使った実験の倫理的配慮について意見交換を行った。
- ・JHE編集委員会から提案された倫理規定を承認した。

5. ワークショップの提案

- ・「色覚の個人差に配慮した新しい交通信号機的设计（仮）」に関する新規共同研究案が真家理事から提案された。第42回大会において本テーマについてのワークショップを開催する。
- ・第42回大会の実行委員に福祉関係者もいるので、視覚障害者の参加を要請する。
- ・ワークショップ後に、学会として研究チームを作り、研究会を設置する。担当は真家理事。
- ・第4回共生シンポジウムのテーマをこの「色覚の個人差に配慮した新しい交通信号機的设计（仮）」としたいという意見があったが、次の理事会で審議する。

●報告と確認

活動スケジュールにもとづき、各理事から報告があった。

JHE

- ・本年（2006年）度は33巻と34巻を刊行、35巻は現在印刷中。
- ・投稿状況は活発であり、昨年の9月から19編の応募があった。
- ・去年の暮れからMEDLINEに載せている。これまでの刊行分はすべてMEDLINEに掲載されている。

会報

- ・大会の1週間前には会報が会員に届くようにしたい。
- ・全国大会の原稿のほか、東日本、西日本、研究交流会などの記事を載せる。

国際交流

- ・国際交流の情報はフィルターをかけないで、随時理事会へ送信するようにした。

働態研究の方法

- ・3月末にメールで連絡し、5月に投稿規定の詳細を郵送した。現在投稿を呼びかけている。

東日本地方会

- ・東日本地方会会長就任について、菊池理事から橋本教授（武蔵野大学）に打診中。
- ・（後日、橋本教授から受諾の返事があった）

事務局

- ・会費の納入状況で、5年以上の滞納者は30名弱いる。
- ・例年よりも、早く会費を集める方向。

43回大会

- ・近藤先生が42回大会に参加する予定

次回の理事会日程：6月30日（金）11：00－12：30 八戸福祉会館

以上